



おとひめ

令和7年9月22日(月)



地域の皆様に支えられて

山口小学校長 吉村 康介

地域総出のグラウンド整備

8月末の、照りつけるような暑い日、学校では環境整備作業が行われました。保護者の方々だけでなく、地域の多くの方が、草刈り機や草かきなどの道具を持参して、グラウンドの整備に汗を流してくださいました。見返りがあるわけでもなく、誰かに見せるためでもなく、ただ「子どもたちのために」と動いてくださるその姿に、胸が熱くなりました。炎天下の中、黙々と作業を続ける皆さんには、地域の誇りと、子どもたちへの深い愛情がにじんでいました。

整えられたグラウンドを見て、子どもたちは「きれいになった!」と目を輝かせていました。子どもたちが運動会に向けてがんばることができるのは、地域の皆様のおかげです。いよいよ運動会本番がやってきます。地域の皆さまの思いに伝えるよう、子どもたちは精一杯がんばります!どうぞ温かい応援をよろしくお願いします。



見えないところで、支えてくださる方も

ある日、学校で刈った草が翌朝にはすっかりなくなっているという出来事がありました。「誰が片付けてくれたのだろうか?」と職員室ではちょっとした話題に。色々なところに尋ねてみると、皆さんもよくご存じの山口の元村長・加藤さんが静かに片付けてくださっていたことがわかりました。加藤さんは、「ちょっと草が必要だったので、勝手にもらった。」と謙遜されましたが、その言葉の奥には、学校への深い思いやりが感じられました。誰にも知られず、誰にも求められず、それでも「子どもたちのために」と動いてくださるその姿に、感激するとともに、学校はとも励まされました。

また別の日のことです。朝一番に電話が鳴りました。電話を取ると、私が若い頃からお世話になっている先輩の先生でした。「名前はわからないけれど、この前、山口地区の防災行事で男の子が代表としてAEDの訓練を立派にやってくれた。校長先生にそのことを伝えたくて電話をした。」とのこと。この先輩の先生も山口の方で、現在も山口にお住まいです。山口の地域行事の中で、本校の児童が真剣に取り組む姿を目にし、わざわざ学校にお電話をくださったのです。名前も学年もわからないまま、それでも「立派だった」と伝えてくださるその言葉には、子どもたちの姿を見守る地域の温かい心が込められていました。

見えないところで、静かに、温かく、子どもたちを支えてくださる方々がいること。そのことに、心から感謝しながら、私たちもまた、子どもたちの未来のためにできることを重ねていきたいと思えます。

あとでわかったのですが、AEDの訓練をしたのは6年生の男子児童でした。訓練に臨んだその児童は、緊張の中でも落ち着いて行動し、周囲の大人たちにも安心感を与えるほどの立派な態度だったそうです。まさに「命を守る行動」を体現するものであり、学校、そして、山口の誇りです。